

市有地を売却

3月7日、一般競争入札



市が所有する土地を一般競争入札により売却します。

- ◆物件 宅地 (上図) 市内字朝来中小字八田 170-38、313.75 平方メートル
- ◆入札受付 申込書管財契約課、西支所、加佐分室に備え付け。市ホームページからダウンロード可) に必要書類を添えて2月25日(金)までに同課へ提出。
- ◆入札日時 3月7日(月) 14時から
- ◆問い合わせ先 同課 (☎66・1045)

物件などは次のとおりです。



市では商工会議所と連携し、市内の8店舗(飲食店や小売・サービス店)のこだわりの新商品や新サービスなどを紹介するチラシ「ゆめ」と。プラス(タブローイ)や専門家のアドバイスを受けて、新たに地場産の素材を使用したメニューや舞鶴らしい特色のあるサービスなどを開発しました。

新たな逸品、チラシで紹介

8店舗

昨年2月に作製した東西地域の8商店街117店舗を紹介した商店街散策ガイドブック「京都myふるゆる」と。続く第2弾。事業費は約125万円。『金曜日はカレーの日』プロジェクト

元気な個店を創出し、商店街の活性化を図る取り組みとして昨年7月から「魅力ある個店づくり塾」を開講。8店舗が参加し、勉強会や専門家のアドバイスをもらい、新たに地場産の素材を使用したメニューや舞鶴らしい特色のあるサービスなどを開発しました。

元気とおいしさ届けます

グリーンスポーツセンターやパターゴルフ場(いずれも青葉山ろく公園内)は例年3月1日から11月30日まで開設しています。今年も積雪により倒壊した屋根の撤去工事や倒木の撤去作業を行うため、同センターのキャンプ棟A・B棟(第1・2キャンプ場)とパターゴルフ場

軍の時代に長い艦上生活で曜日感覚を失わないために週末のメニューに「カレー」を出しており、今でも海上自衛隊では、毎週金曜日に「カレー」が食べられていることから、舞鶴の新しい名物にしようと発案したものです。

詳しくは、観光商業課 (☎66・1024) へ。

青葉山ろく公園 キャンプ棟・パターゴルフ場 利用を一時休止

グリーンスポーツセンターやパターゴルフ場(いずれも青葉山ろく公園内)は例年3月1日から11月30日まで開設しています。今年も積雪により倒壊した屋根の撤去工事や倒木の撤去作業を行うため、同センターのキャンプ棟A・B棟(第1・2キャンプ場)とパターゴルフ場(☎64・5454)へ。

散乱ごみのないきれいなまちを目指し、今年も「まいづるクリーンキャンペーン」を実施。キャンペーンの啓発に使用するポスターデザインと散乱ごみ防止に関する啓発標語を募集します。

クリーンキャンペーン ポスターデザインと標語を募集

- ◆啓発標語: 20字程度。1人1点。
- ◆対象 市内在住か在勤在学の人
- ◆応募方法 作品(ポスターデザインは裏面)に住所氏名、年齢、電話番号、児童生徒は4月以降の学校名と学年を記入し、3月1日(火)4月8日(金)に実行委員会事務局(生活環境課内、京都北都信用金庫北吸支店跡)へ持参。啓発標語は郵送ファクス(66・1015)も可。詳しくは、同事務局(☎66・1005)へ。

市市民税の控除の要件と控除額

※控除額は市市民税の所得控除額。

◆平成 22 年中に保険料・医療費などを支払った年金受給者など

支払った保険料・医療費	控除額
健康保険料 (国民健康保険料、後期高齢者医療保険料など)	支払った額
介護保険料	それぞれ最高 35,000 円
国民年金保険料	
生命保険料	
個人年金保険料	最高 25,000 円
地震保険料	支払った医療費から生命保険の給付金などを除いた額のうち、22 年中の所得金額の 5% に相当する額 (最高 10 万円) を超えた額
医療費	

◆寡婦・寡夫・障害者

要件	控除額
寡婦	26 万円
寡夫	30 万円
障害者	26 万円 (障害の程度によっては 30 万円)

《非課税になる場合も》

22 年中の所得金額が 125 万円以下の寡婦・寡夫・障害者は、市市民税が非課税になります。

税の申告、忘れずに 市市民税、所得税は3月15日まで

市役所、西支所、舞鶴税務署で税の申告を受け付けています。受付期間内に忘れずに申告を。

勤務先で年末調整が済んでいる人は、申告は不要です。 税務課 (☎66・1026)

平成 22 年中に保険料・医療費などを支払った年金受給者や寡婦・寡夫・障害者などで左表の要件に該当する人は、申告により市市民税の控除が受けられる場合があります。詳しくは、税務課 (☎66・1026) へ。

第26回 国民文化祭・京都2011 早わかり国民文化祭

その⑪ 大型記念オブジェ「始まりの時」制作進む

今年 10 月 29 日(土)と 30 日(日)に開催する国民文化祭・京都 2011 の舞鶴市主催事業「赤れんがアートフェスティバル」で披露する大型記念オブジェ「始まりの時」の制作が順調に進んでいます。大型記念オブジェは、高さ約 4 メートルの卵型の骨組みに、土で作った陶板を貼り付けて立体作品に仕上げるもの。陶板は、市内の全小学校の 3 年生、府立舞鶴養護学校、府立盲・聾学校舞鶴分校などの児童・生徒に制作をお願いし、約 1,100 枚が集まりました。現在、市内で活動する芸術家グループのアノ・ソノ・アート(高井晴美代表)が、陶板一つひとつを焼き上げて着色する作業を行っています。今月から、市役所前の広場で大型記念オブジェの基礎工事が始まりました。4 月中旬からは、陶板の貼り付け作業が始まる予定です。詳しくは、企画政策課 (☎66・1042) へ。



▲大型記念オブジェに貼り付ける色とりどりの陶板